

学校だより

50年の節目

校長 西沢 盛和

3月22日、小笠原小学校第50回の卒業式を迎えます。これまで、777名の卒業生が本校を旅立ち、今回17名の卒業生が続きます。昭和43年、小笠原諸島の日本復帰に伴い、それまで米軍関係が使用していたラドフォード提督学校の校地、校舎を引き継ぎ、小笠原小学校・小笠原中学校として開校。当時は、児童32名、生徒21名、職員8名、そして、第1回の卒業生は9名だったと記録に残っています。それから50年、半世紀に794名の卒業生。その大きな節目がこの3月22日の卒業式です。

50年という長い年月を思うとその感慨は深く大きいものがあります。流入しては去っていく人波の絶えることがないこの島で、小笠原小学校を支え続けて来てくださった地域の皆様の期待に、私たちは果たしてどこまで応えることができたのかと身の引き締まる思いです。「賢者は歴史に学び、愚者は経験に学ぶ」という言葉がありますが、私が校長として赴任してからのここ数年においても、小笠原小学校及び地域のことをよく知ろうとする（歴史に学ぶ）よりも先に、自分の経験を振りかざす（経験に学ぶ）教員は少なくありません。私自身もそういう愚者の一人かもしれないと自戒しながら、小笠原小学校及び地域の歩みをよく学び、よき伝統を継承して後任に確実につないでいかなければならないと強く思うこの頃です。

第50回目の記念すべき卒業式に向けて、17人の6年生が練習をしています。校長室で仕事をしているとその歌声が開け放した窓越しに聴こえてきます。「そういえば、今の中学3年生は卒業式の当日まで、6年教室で卒業式の歌の朝練習をしていたっけ」と懐かしく思い出されます。中3に限らず毎年の卒業生の歌、そして卒業を祝う在校生の歌は、来賓や保護者の方々、そして私たち教員をも感動させてくれました。それは小笠原小学校のよき伝統の一つです。また、入学式には毎年新入生の似顔絵が貼り出されます。それもよき伝統の一つであり、その準備を新たな6年生になる5年生が着手しています。こうして51年目へとおが小の歴史は続いていくのです。

17名の卒業を心からお祝いするとともに、その立派に巣立つ姿を保護者・地域の皆様にお見せすることで、この50年の節目を飾ることができれば幸甚に存じます。

3月の行事予定			16	金	弁当終 クラブ活動
1	木	避難訓練	17	土	
2	金	委員会活動	18	日	
3	土		19	月	全校朝会 大掃除
4	日		20	火	卒業式準備 5年生
5	月	全校朝会 誕生日集会	21	水	春分の日
6	火	6年生を送る会	22	木	卒業式 (3時間授業)
7	水	音楽集会 安全指導	23	金	修了式 離任式 (3時間授業)
8	木	仲良しお弁当会 ヨーグルト	24	土	
9	金	保護者会 (1~3年生午前授業)	25	日	
10	土		26	月	春季休業日始 見送り式
11	日	カメ学習報告会	27	火	
12	月	全校朝会 補食ゼリー	28	水	4月6日(金) 始業式 通常登校 4月9日(月) 入学式
13	火	ヨーグルト	29	木	
14	水	ヨーグルト飲料	30	金	
15	木		31	土	

<生活目標>

担当 志村 佳成江

○一年間をふりかえり、まとめをしよう

今年度も最終月になりました。この1年で、多くの課題を乗り越え、成長していったことと思います。今月は、1年間の学習や生活を振り返り、成長した点やさらに高めたい点を考えることが目標です。来年度、胸を張って進級・進学できるように励ましてまいります。



<安全指導>

担当 増渕 優花

○教室の整頓をしよう。

今月は、身の回りの整理整頓とともに、次の学年に渡す教室をきれいにすることに取り組みます。整理整頓をすることですっきりとした気持ちで、今年度を終わられるようにしたいと考えています。

また、3月は学校生活のまとめの時期です。この1年間で「安全」について学んだ事(生活安全・交通安全・災害安全)を再確認できるよう指導し、進級・進学につなげていきます。

卒業式に向けて

卒業式委員会 永沢 若菜

平成29年度 第50回卒業式

日時 3月22日(木)

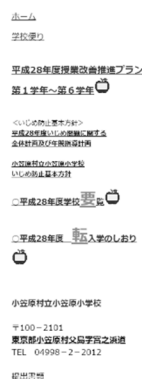
開場 8:45 **開式** 9:00 **閉式** 10:25

会場 本校体育館

本校の卒業式は、全校児童が出席します。

卒業式本番に向けて、**式自体の練習**や**6年生を送る会**、**卒業生と一緒に遊ぶ時間**など、様々な交流時間が始まります。

仲良しお弁当会	3月8日(木)	12:05~13:15
6年生を送る会	3月6日(火)	10:15~12:05
卒業式予行	3月19日(月)	8:25~10:05



ホームページで練習風景などをアップしていく予定です。

児童の健康

保健担当 増渕 優花

今年度の学校生活も残り1ヶ月となりました。私が小笠原小学校の児童と接するようになって早くも3年が経とうとしています。私自身の小学校時代を振り返ってみると、休みがちで保健室に度々訪れる児童でした。母親は、私がずる休みをしようとしているのか本当に体調が悪いのかを見分けることの名人で、今改めて振り返ってみると、毎朝の私の様子を見て健康チェックをしてくれていたのだとわかります。

小笠原小学校の子供たちも体調が悪いときは、無理せず休んだり、少しの不調であれば、頑張って学校に来たり、保護者の方と朝、相談をして決めている様子が伝わってきます。やはり、保護者の方は些細な変化にも気付ける子供の健康の一番の理解者です。学校では修了式まで子供たちが病気や大きなけがなく過ごせるよう、担任や養護教諭が見守り、予防の指導をしていきます。ご家庭でも朝の健康観察や手洗い・うがいの声かけ、けが防止の注意喚起をお願いいたします。

今年度も保健室の執務ならびに学校保健のご理解とご協力、ありがとうございました。

